






# 施策マネジメントシート(2020年度の振り返り、総括)

作成日 2021 年 6 月 7 日

基本目標	I	誰もが安心して安全でゆとりを感じるまち	主管課	名称	地域整備課	
				課長	林 昇	
施策	9	道路の安全性と利便性の確保	関係課			   

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
			2 道路の安全性の確保	①町内の道路利用者 ②道路施設	安全に利用できる。
			3 冬期間の道路網の確保	町内の道路利用者	冬期間において道路を安全に利用できる。
			4		

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の補修や橋梁の長寿命化を計画的に実施し、併せて道路愛護作業等による道路の適正な維持管理に努めます。</li> <li>道路施設の健全化を図るとともに、都市計画道路未整備区間を早期開通させ、道路の利便性の向上を図ります。</li> <li>迅速な除排雪や消融雪施設の適正な維持管理を行うとともに、住民自らが行う除排雪作業を推進し、冬の円滑な交通の確保に努め、事故や通行止めの発生を抑制します。</li> </ul>
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
	A	町内の道路に不便を感じている町民の割合/道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合	%	実績値	50.3/63.5	53.7/56.3	53.4/56.3	50.2/50.4	48.7/51.3	
目標値					48.0/60.0	47.0/58.0	46.0/56.0	45.0/54.0	44.0/52.0	43.0/50.0
B	道路改良率/都市計画道路改良率	%	実績値	37.4/32.0	37.6/34.8	37.7/37.4	37.7/37.4	45.5/37.4		
			目標値		37.6/34.8	37.6/37.4	37.7/37.4	37.7/37.4	37.8/37.4	37.8/42.0
C	道路に関する情報・苦情件数(夏期/冬期)	件	実績値	130/219	30/101	26/59	113/29	203/234		
			目標値		130/195	125/190	120/185	115/180	110/175	105/170
D	冬期間における交通事故発生件数	件	実績値	275	257	228	191	164		
			目標値		250	240	230	220	210	200
E			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方	<p>A) 直接的な設問であり、数値が低くなれば、目的が達成できていると考えられるため、成果指標とした。</p> <p>町民アンケート(翌年度実施分)により把握</p> <p>※町内の道路に不便を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>※道路の除排雪・消融雪に不満を感じていますか。→「感じている」、「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>B) 数値が高くなることにより、道路利用者が安全で円滑に移動できるようになると考えられるため成果指標とした。</p> <p>※道路改良率:道路台帳道路総括表より実数を把握 都市計画道路改良率:主管課で把握</p> <p>C/D) 道路に関する情報・苦情件数及び交通事故発生件数については、殆どが冬場の積雪・凍結関係であることから、件数が減少することは道路の安全性・利便性の向上に繋がると考え成果指標とした。(夏期は4月～11月、冬期は12月～3月とする)</p>
----------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 町内の道路に不便を感じている町民の割合については、毎年、計画的に地域の主要路線の改良を進めていること、また都市計画道路の未開通区間の一部が整備されることにより、若干の向上は見込まれるが、地域による道路愛護作業において、従事する町民の高齢化、人口減等により、日常的な維持管理が十分でなくなる事が想定されるため。</p> <p>B) 道路改良率、都市計画道路改良率については、後閑路線の予定区間が完了する予定であること、都市計画道路の未着手区間の一部(悪戸矢瀬線)の開通が見込まれる事から若干向上が見込まれる。</p> <p>C) 道路に関する情報・苦情件数については、町道の舗装が経年劣化により全体的に傷んできていることから、成り行きでは件数は増加すると思われるが、補修・維持管理(事業化・直管等)を適正に実施することにより、目標値を設定する。また、冬期間の情報・苦情件数については、前記と同じく、地域人口の減少・高齢化等により除雪に対する要望が増加することが想定されるが、除雪機械の整備・更新を適正に行い、またオペレーターの確保に努めると共に、地域除雪の協力体制を拡充することにより、目標値を設定する。</p> <p>D) 冬期間の事故発生件数については、冬期間の交通の安全確保に努めるとともに、町ホームページにリンクしている気象情報ライブカメラ、除雪車両マップ等の情報を、今後より多くの方に利用してもらうことにより、道路状況に応じた運転を心がけてもらうことにより件数は減少すると見込んでいる。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備に対して用地の提供や地域の合意形成に努める。</li> <li>地域における道路愛護に努め、簡易な修繕及び維持管理を行う。</li> <li>道路の危険箇所などを通報するとともに、雪道では特性を理解した運転に心がける。</li> <li>地域ぐるみで除雪体制を考え、地域除雪に協力する。</li> </ul> <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に道路の整備を行う。</li> <li>道路・橋梁等の道路施設の適切な維持管理を行うとともに、ホームページを活用した情報提供を行う。</li> <li>道路愛護活動のための支援を行う。</li> <li>降雪状況を把握して安全で迅速な作業(除雪、消融雪、凍結防止剤散布)を実施する。</li> <li>除雪作業に必要な協力の呼びかけ(PR、広報)を行う。</li> </ul>
---------------	--

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少・高齢化が進むことで、これまで道路等の維持管理及び除雪に従事していた人も少なくなり、維持管理が困難になることが予想される。</li> <li>道路施設の点検・整備・補修については、半永久的に継続される事業であることから、計画的な事業を進めるための事業費の確保が必要となる。</li> <li>都市計画道路の開通により、道路利用者が分散され、渋滞緩和・移動時間の短縮が図られる。</li> <li>除雪車両については、交付金を活用し計画的に更新を進めていくが、更新に膨大な費用を要することが見込まれる。</li> </ul> <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町民の半数以上が町内の道路に不満・不便を感じているため、住民の期待に十分応えているとはいえない。特に、「道幅が狭い」、「道路が暗い」、「除雪状況が悪い」との意見が多く寄せられている。</li> <li>都市計画道路真政悪戸線歩道橋開通により、利便性の向上が図れたが、残り区間、悪戸矢線及び真政工区(老人センター～17号バイパス)の早期完成が望まれている。</li> <li>地域除雪の取り組みについての必要性。</li> </ul>
-----------	---

施策	9	道路の安全性と利便性の確保	主管課	名称	地域整備課
				課長	林 昇

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<p>①町内の道路に不便を感じている割合は平成30年度53.4%、令和元年度50.2%、令和2年度48.7%と前年度に比べ1.5ポイント減少した。また、道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合は、平成30年度56.3%、令和元年度50.4%、令和2年度51.3%と昨年度に比べ0.9ポイント増加した。</p> <p>②道路改良率は、平成30年度37.7%、令和元年度37.7%、令和2年度45.5%となっている。これは、GIS化による道路台帳図の見直しに伴い上昇したことに起因する。また、都市計画道路改良率は、平成30年度37.4%、令和元年度37.4%、令和2年度も前年度同数値の37.4%であった。</p> <p>③道路に関する情報・苦情件数の夏期は、平成30年度26件、令和元年度113件、令和2年度203件で、冬期は、平成30年度59件、令和元年度29件、令和2年度234件であった。令和元年度の夏期の件数が上昇したのは台風19号の影響により、また、令和2年度については9月の豪雨の影響による。冬期の件数が上昇したのは12月の豪雪の影響による。</p> <p>④冬期間における交通事故発生件数は、平成30年度228件、令和元年度191件、令和2年度164件であった。</p>
		<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)		
<input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。			
② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。	<p>町の道路改良率は45.5%であり、令和2年度県内市町村における道路改良率の平均49.5%を4ポイント下回っている。</p> <p>なお、道路改良率は道路延長が短く人口が集中している都市部で高い傾向にある。また、近隣市町村との改良率と総延長の比較では、みなかみ町の改良率が45.5%（実延長1,101.4km）であるのに対し、沼田市37.0%（1,399.5km）、中之条町36.3%（696.7km）、片品村40.7%（360.7km）、川場村60.9%（161.7km）、昭和村44.4%（528.4km）となっている。（令和2年4月現在）</p>	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。		
<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である。			
<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。			
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。	<p>①町民アンケートによる「町内の道路で不便を感じている町民の割合」は、48.7%となり、目標の45.0%を下回った。また、「道路の除排雪・消融雪に不満を感じている町民の割合」は、51.3%であり、目標の54.0%を上回った。</p> <p>②道路改良率は、45.5%となり目標値を上回った。都市計画道路改良率は、令和元年度と同様の37.4%であり、目標値のとおりである。</p> <p>③道路に関する情報苦情件数は、夏期203件・冬期234件であり、目標値夏期115件より多く、また目標値冬期180件と比較においても多かったため、目標を下回った。</p> <p>④冬期間における交通事故発生件数は、164件で目標値220件より少なかったため、目標を上回った。</p>	
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。		

基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
				1 道路整備の推進・促進	A 町内特定区間の距離及び所要時間(月夜野IC～保健福祉センター～上毛高原駅～水上IC)	km/分	実績値	実績なし	12.6/20	12.6/20
			目標値		12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.5/20	12.0/15
	B		実績値							
			目標値							
2 道路の安全性の確保	A 道路施設(橋梁)点検済み率/補修済み箇所数	%/箇所	実績値	25/12	83/15	100/17	28/19	46/22		
			目標値		80/15	100/17	20/20	40/23	60/26	80/30
	B		実績値							
			目標値							
3 冬期間の道路網の確保	A 冬期間の通行止め件数	件	実績値	0	0	0	0	1		
			目標値		0	0	0	0	0	0
	B		実績値							
			目標値							
4	A		実績値							
			目標値							
	B		実績値							
			目標値							

基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
1 道路整備の推進・促進	都市計画道路等について早急に整備を進める。	①(都) 悪戸矢瀬線の改良工事を完了し、全線開通する。 ②上津月夜野線(旧関口大原線)の国道17号へ接続する改良工事を実施する。 ③政所59号線(旧真政線)について踏切箇所移設事業を継続して実施する。 ④都市計画道路4路線を廃止する。
2 道路の安全性の確保	①道路の狭あい部分を解消する。 ②橋梁等の道路構造物の安全性を確保する。 ③公開した道路台帳図等(公開型GIS)を広く一般住民等に利用されるようにする。	①布施194号線(旧野田原箕輪線)の改良工事を継続して実施する。 ②橋梁長寿命化計画に基づき、法令点検を実施し、その結果に基づき必要となった補修工事を進める。 ③道路ストック事業に基づき、トンネル・法面等の長寿命化事業を進める。 ④道路台帳図等を毎年更新し、関連した情報で公表可能なものを随時公開していく。
3 冬期間の道路網の確保	①古い消融雪施設の維持管理。 ②直営路線の除雪体制の維持。	①消融施設の計画的な更新。 ②除雪車輛の運転手の確保と育成。 ③個人委託・地域支援による除雪作業の拡充。
4		



## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 16 日更新)

事務事業	000009	都市計画見直し検討事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,470,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				都市計画道路9路線・延長14,962mの内、未着手の4路線(延長3,552m)の見直しを行う。公共下水道区域及び都市計画税と併せて見直しを行う。	都市計画道路見直し計画を策定した。都市計画道路の廃止や公共下水道区域の変更について、区長会で説明し、関係住民には、チラシ配布にて周知した。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						見直し4路線の延長				
根拠	有	組織	地域整備	課	都市計画	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	期間限定	H 1 ~ 年間	会計	1	款	8	項	4	目	1	3552	3,552	m
合併当時から見直す必要があったが、放置されていたため、住民説明会で住民の理解を得ることが困難となる。							町都市計画審議会で最終判断を諮問する。						

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000010	町道関口大原線道路改良事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	12,067,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				町道関口大原線と国道17号の交差点、前後約300mの道路線形改良を行う。	国交省との協議を重ねている。また、他の機関との協議準備をしている。	事業実績				
	基本事業	01	道路整備の推進・促進						当年度実施済延長				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	期間限定	H 1 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	3	0	0	m
国土交通省等との協議による成果修正。							各種協議を整える。また、地権者からの了解を得て、工事を実施する。						

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000001	道路愛護活動事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,736,164 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				道路の環境美化を通じて公共福祉の増進と道路愛護意識の高揚を図るため春と秋の年2回、地区の住民による道路の清掃並びに修繕に対し支援を行う。	任意保険の加入推進を図るため、行政区への財政支援に取り組んだ。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						道路清掃延長				
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	1	417	369	km
・傷害保険の補償内容の見直し。 ・任意保険加入の推進を図る。 ・作業に伴う安全管理の周知を強化する。							今後も継続的に円滑に事業を進める。						

令和 2 年 8 月 14 日作成 (令和 3 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000002	道路台帳管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	11,759,000 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				道路台帳統合電子化し町道の新設及び改良等による道路台帳等更新及び地理情報システムの保守管理に係るもの。	関係各課に地図情報の更新に必要な情報提供依頼・連絡を密に行っている 定期的にGIS利用促進に係る情報提供を実施している	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						新設、改良路線数・廃止路線数				
根拠	無	組織	地域整備	課	用地・管理	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	R 2 ~ 年間	会計	1	款	8	項	2	目	1	0	46	0
道路台帳等の変更に係る更新に漏れないよう注意する必要がある。地図関係事務の合理化を推進するため、職員に対し継続してシステム利用促進を図る							常に新しい情報が閲覧できる状態を継続できるよう周知や教育を徹底していく						

## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 14 日作成 (令和 3 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000003	道路内民地未処理案件解決事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,984,566 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町道の敷地内にある個人名義の土地について、公共用地として取得し管理を適正に行えるようにする。	地権者の要望にはできる限り早く対応できるよう関係職員と連携を図っていく	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保					道路内民地を町名義に登録した件数						
根拠	無	組織	地域整備	課	用地・管理	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H 30 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	1	令和元年度	令和2年度	単位	
様々な理由で道路内民地が発生しており過去の経緯が不明な場合、事務処理に時間を要することが多い						GISシステムを駆使し道路内民地台帳を作成していく						3	4	件

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000004	道路維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	55,110,002 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			パトロールにより危険箇所の情報収集に努め、道路の欠陥・破損箇所を早期に発見補修し、町民生活に影響を与えぬよう道路を常に良好な状態に保つよう維持・補修を行う。	直営や委託による道路の補修を実施した。	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保					修繕作業委託箇所数						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	2	令和元年度	令和2年度	単位	
道路パトロールを強化して、町内の状況を把握し、早期に対応する。業者等の施工方法や区長、近隣の住民と連携して補修にあたる。						公共土木施設の維持管理は必要不可欠であり、今後も継続的に円滑に事業を進める。						34	47	箇所

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000005	三峰トンネル維持管理費負担事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7,733,550 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			望郷ライン三峰トンネルの維持管理について、事務を沼田市に委託し、延長割りで負担金を支払うもの。	2市町にまたがるトンネルのため、沼田市との経費負担の調整に取り組んできた。	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保					トンネルの長さ						
根拠	無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	2	令和元年度	令和2年度	単位	
電気代等の通常の維持管理経費に加え、様々な機器の更新費用が高む。						適正な維持管理に資するよう、沼田市と緊密な連携を図っていく。						1605	1,605	m

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000006	道路ストック総点検・老朽化対策事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	84,186,729 円					
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			全国各地で起きているトンネル内コンクリートの剥落や道路のり面上方からの事故が起こらないように適切に維持管理する事を目的とする。各種道路構造物を点検し、危険箇所について補修工事などの対策をとる。	法面や舗装の補修工事の実施。	事業実績						
	基本事業	02	道路の安全性の確保					点検箇所数・補修設計数・補修工事数						
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策						
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	2	令和元年度	令和2年度	単位	
定期的な維持管理が必要						管理施設数が多いため、定期的に維持管理を行う。						0・1・30	0・0・6	箇所

## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000008	単独道路改良事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	17,976,114 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				補助事業に該当しない小規模道路改良工事に伴う不動産鑑定評価業務、土地売却契約、分筆・所有移転登記等工事等に向けての準備作業及び工事業務を行う。	道路用地の寄付等により、道路改良工事の実施。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						当年度実施済道路延長				
根拠		無	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	3	事業費の確保が必要となる。		
根拠		無	組織	地域整備	課	土木	係	事業費の確保が必要となる。		地域の要望がある箇所でも地権者の了解が得られない場合があり、調整が困難である。			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	3	令和元年度	令和2年度	単位
事業期間		H ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	133	105	m

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 23 日更新)

事務事業	000011	橋梁長寿命化事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	73,846,292 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				既設管理橋梁の定期点検を行い、結果を基に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、必要な補修及び修繕工事を行い長寿命化を図る。	優先順位を考慮し補修し実施した。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						橋梁点検数・橋梁補修設計数・橋梁補修工事数				
根拠		有	組織	地域整備	課	土木	係	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	4	長寿命化修繕計画の策定により多額の修繕費用の確保が必要となるが、修繕を怠ると劣化から橋梁が通行不能となるため、新規道路や道路改良以上に優先的な予算投入が必要。		
根拠		有	組織	地域整備	課	土木	係	長寿命化修繕計画の策定により多額の修繕費用の確保が必要となるが、修繕を怠ると劣化から橋梁が通行不能となるため、新規道路や道路改良以上に優先的な予算投入が必要。		継続的に円滑に事業を進める。			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	2	目	4	令和元年度	令和2年度	単位
事業期間		H 24 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	114・2・7	78・0・3	橋

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 22 日更新)

事務事業	000012	狭あい道路拡幅整備事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	22,581,771 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				・町道野田原箕輪線(L=560.0m)路線測量業務・用地買収・物件補償・道路拡幅工事	交付金事業について、令和6年度まで事業期間が更新されたことにより、継続中の町道野田原箕輪線 道路拡幅工事が実施することが出来た。	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						狭あい道路事業延長				
根拠		無	組織	地域整備	課	用地・管理	係	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	5	目	1	H31年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる		
根拠		無	組織	地域整備	課	用地・管理	係	H31年度で交付金事業が終了する見込みであり、今後の路線要望への対応が課題となる		継続中の町道野田原箕輪線 道路拡幅工事が令和3年度に完了予定でなので、町内で道路幅員が4メートル未満の路線において道路拡幅事業を進めていく。			
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	5	目	1	令和元年度	令和2年度	単位
事業期間		H 23 ~ 年間		会計	1	款	8	項	5	目	187	0	m

令和 2 年 7 月 27 日作成 (令和 3 年 6 月 14 日更新)

事務事業	000013	パークアンドライド管理事業				① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	42,980 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				月夜野情報ターミナル駐車場を維持管理するための委託業務	-	事業実績				
	基本事業	02	道路の安全性の確保						駐車場の草刈り、ゴミ拾い作業の回数				
根拠		無	組織	総合戦略	課	企画調整	係	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	10	課題なし		
根拠		無	組織	総合戦略	課	企画調整	係	課題なし		-			
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	10	令和元年度	令和2年度	単位
事業期間		H - ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	2	2	回

## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000019	町道後閑師線道路改良事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	41,176,000 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				町道後閑師線狭小区間の拡幅改良事業	道路改良工事の実施。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保						当年度実施済延長			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係						
事業期間	期間限定	会計	1	款	8	項	2	目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 28 ~ 年間									180	160	m

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000021	町道羽場湯宿線道路改良事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,290,000 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				起点部からしばらくの間の幅員が狭く、地域の重要路線であり、交通量が多く危険なため、拡幅改良をするもの。	今年度については、事業中止期間のため、特になし。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保						当年度実施済道路延長			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係						
事業期間	期間限定	会計	1	款	8	項	2	目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 29 ~ 年間									0	0	m

令和 3 年 7 月 7 日作成 (令和 3 年 7 月 8 日更新)

事務事業	000022	道路台帳等統合整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	9,932,684 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				旧3町村で整備した道路台帳の成果品が劣化している為、全庁統合型GISの導入により、3地区の道路台帳の統合を始めとした他部署が保有している図面の一元管理を目指す。	他部署との連携を図り道路台帳統合及び統合型GISが完了した。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保						実施率			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
根拠	有	組織	地域整備	課	用地・管理	係						
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	1	令和元年度	令和2年度	単位
	H 29 ~ 年間									97	100	%

令和 3 年 7 月 7 日作成 (令和 3 年 7 月 8 日更新)

事務事業	000023	町道後閑石合集落道路新設改良事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,588,747 円			
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保				町道神田線と石合1号線の間L=70mの道路新設(町道石合10号線)を行う。 H30用地測量、路線測量、設計 H31~道路新設工事	道路用地は、交換と寄付により取得し、交換で支障となった物件については、補償工事に対応し、工事が完成することが出来た。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保						道路整備延長			
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策						
根拠	有	組織	地域整備	課	土木	係						
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	8	項	2	目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 31 ~ 年間									0	71	m

## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000024	町道浅地工貫線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	7,505,734 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	浅地工貫線の道路側溝整備含めた道路改良を行う。	本年度は民有保安林の木の根が影響のない箇所の施工を実施し、次年度に伐採手続きを実施する。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			排水路整備延長			
根拠	無	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項	2 目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 31 ~ 年間						241	208.0	m
道路改良を行う隣接地には、民有保安林があり、杉の木の根が道路改良の支障になる可能性がある。					支障となる民有保安林内の木の伐採における地権者同意を確認し、群馬県利根沼田環境森林事務所と協議をし、来年度に道路改良工事が施工出来るように進める。				

令和 3 年 7 月 7 日作成 (令和 3 年 7 月 8 日更新)

事務事業	000025	町道宮前河原線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	ハルナプロデュースタナワ工場前から県道沼田水上線まで延長270mの道路改良を行う。	地区の役員と協議を実施した。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項	2 目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 30 ~ 年間						0	0	m
公安委員会との協議。					他の事業との関連や、優先順位も考慮しながら、地区の方と協議を行い、方針を検討していく。				

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000026	町道鹿野沢西町線他道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	21,492,528 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	鹿野沢地内の水上駅前から鹿野沢会館までの生活道路、延長150mの道路改良を行う。	群馬県沼田土木事務所と散水消雪施設の必要散水量及び維持管理負担金における協議を行い、県の散水消雪施設に接続する工事が実施出来、改良区間が完成した。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項	2 目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 30 ~ 年間						0	146	m
勾配が急な区間には、現況に町の動力による散水消雪施設があり、維持管理に手間と費用が掛かっている。					事業完了				

令和 2 年 8 月 13 日作成 (令和 3 年 6 月 17 日更新)

事務事業	000027	町道三通り戸谷倉線道路改良事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	13,551,829 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保	上牧地内の北小学校南校門付近から戸倉、戸谷地区を抜ける生活道路、延長1500mの道路改良を行う。	支障物件の少ない戸谷地区より用地を取得し、予算内で施工を実施したため、全幅施工が不可能であり、部分的に土留ブロック積の施工を実施した。	事業実績			
	基本事業	02	道路の安全性の確保			当年度実施済道路延長			
根拠	有	組織	地域整備 課	土木 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			
事業期間	期間限定	会計	1 款	8 項	2 目	3	令和元年度	令和2年度	単位
	H 30 ~ 年間						0	35	m
建物等が支障になる。砂防河川を通り抜ける為、大規模な構造物を建てる必要がある。上越線を越える為、JRと要協議。					町予算の配分を考慮し、次年度は休工し、翌年度より小規模に施工を進めて行く。				



## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000001	道路除排雪事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	132,968,246 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			道路に降った雪の除排雪を行い町民や来町者等道路利用者が安全で安心して通行できる道路を提供するため、除雪作業方法の選択や契約・現場管理に関する事務、及び破損個所の修繕業務	直営除雪(水上地区)を外部に委託した事により、オペレータの身の保障と給与の安定を図ることができた。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					臨時職員の作業日数 ・除雪委託業者数 ・地域支援除雪団体					
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位			
事業期間	継続事業 H 24 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5	82・15・5	87・14・5	日・者・区
除雪経費削減。 直営オペレーターの確保						効率の良い作業を行うため、除雪経路の順番の見直しを行う。 また、町職員のオペレーターの育成を行う。							

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000002	除雪機・除雪車等維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	17,527,040 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			町が所有する除雪作業用重機・車両等の維持管理事業	適正な車両台数の検証 廃車計画の策定	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					保有台数・借上機械数					
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位			
事業期間	継続事業 H 24 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5	41・1	43・0	台
老朽化に伴う車両の維持管理費の増加						計画的な車両の更新							

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000003	除雪機・除雪車等整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,454,570 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪作業用重機・車両等の購入事業	8t、3tドザーの購入	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					購入機械台数					
根拠	有	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位			
事業期間	継続事業 H 26 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5	1	2	台
補助車両については、計画的な更新・増強を行っているが、単独車両の多くが老朽化しており、買い替え等が必要がある。						計画的な車両の更新と廃車を行い、適正な車両台数を確保する。							

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000004	消融雪施設維持管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	67,259,601 円				
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			消雪・融雪施設の維持管理業務。 【燃料・電気料、修繕・工事、施設及び電気設備管理委託、消雪施設電気料県負担金】	燃料・電気代等の経費を軽減するため、降雪・路面状況に応じて迅速に電源管理が行えるよう業務を委託した。	事業実績					
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					散水施設箇所数・無散水施設箇所数					
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位			
事業期間	継続事業 H 24 ~ 年間		会計	1	款	8	項	2	目	5	17・27	16・26	箇所
施設の通常経費の増加及び老朽化に対する維持費の増加						補助事業を活用し、計画的な施設の更新工事を行い、経費の削減を図る。							

## 09\_道路の安全性と利便性の確保

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000005	除雪情報システム管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,925,404 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			除雪車の運行管理システムを活用し現在地及び除雪経路等の確認、交通渋滞情報の提供等HPにて公開する。また、除雪費などの集計も行える。	不足していた端末機を補充した。	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					除雪延長(監視延長)			
		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	災害時の活用方法の確立、及びシステムのカスタマイズ費用が課題	システム内容の向上を図る。	令和元年度	令和2年度	単位	
事業期間	継続事業 H 26 ~ 年間		会計	1 款	8 項			2 目	5	313	360

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000007	消雪施設改修事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,900,000 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			老朽化が進む散水式消雪施設の計画的な更新。	町道鹿野沢大穴線、3年目工区の更新工事の実施(翌年度繰越)	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					改修工事の延長/ 既存散水式消雪施設の延長			
		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	散水式消雪施設は昭和50年代より随時整備を行ってきたが、老朽化が進み、保守点検等実施しておりますが、散水の効率が低下している。	更新工事の継続	令和元年度	令和2年度	単位	
事業期間	継続事業 H 29 ~ 年間		会計	1 款	8 項			2 目	5	261/4461	0/4461

令和 2 年 8 月 7 日作成 (令和 3 年 6 月 18 日更新)

事務事業	000008	気象観測システム管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,762,748 円		
施策体系	施策	09	道路の安全性と利便性の確保			平成25年度に気象観測局の設置、情報の収集・発信を行う観測装置の維持管理及びホームページに関する機器のメンテナンス	観測装置およびホームページのメンテナンス	事業実績			
	基本事業	03	冬期間の道路網の確保					年平均月間利用者数			
		②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策							
根拠	無	組織	地域整備	課	除雪センター業務 係	管理面積の広いみなみ町では、全体的に気象観測をする事が非常に困難であると思う。 観測局毎に維持管理費用がかかるため、なるべく少ない設置箇所が望まれる。	観測装置の計画的な更新	令和元年度	令和2年度	単位	
事業期間	継続事業 H 27 ~ 年間		会計	1 款	8 項			2 目	5	41508	49,353